

富士市立高等学校 学校運営協議会		第 1 1 回	会議要旨 (平成 2 8 年度)
開催日 平成 2 8 年 1 0 月 3 1 日 月曜日 開 会 1 3 時 1 5 分 閉 会 1 6 時 1 0 分		会議場 富士市立高等学校 2 階 会議室	
出席委員 上柳 正仁      遠藤 陽子      塩田 真吾      柴田 怜奈 中川加代子      畑 隆      野村 浩美      山田 雅彦 吉村 孝夫      岩田 享      秋山 道博      石村 俊樹 植野 秀樹			
開会			
授業参観			
会長・副会長あいさつ ○畑会長あいさつ ・1 か月前の探究学習発表会にも参加させていただいた。3 年生の自分スピーチでは、躓くことがあってもそれを乗り越えてきた軌跡を、いろいろな生徒の発表から感じた。そのなかに考えや思い、心の成長というものを感じ取っていた。 ・富士市立高校の教育の一つの成果が、自分スピーチにも表現されていたのではないかと思っている。 ○副会長あいさつ ・本校の陸上部の生徒がすばらしい結果を残し、静岡新聞に掲載された。 ・サッカー部も県で上位に残っており、3 日に初戦を戦い、決勝を目指していく。同じく 3 日には野球部の富士市スポーツ祭の試合がある。吹奏楽部も中学生を集めて練習会等を催している。 ・日曜日に富士・富士宮地区の 9 校合同説明会を行った。他校の説明を聞くと、それぞれの学校の校風をすごく感じた。富士市立高校ができて 5 年半になる。中学生や保護者が、富士市立高校はどんな校風だと見ているのかとても気になった。 ・開校から 10 年後に、おそらく本校の校風が富士市民に完全に植え付けられる。これからの 5 年間で、本校の校風が一番植え付けられる時期だと思う。 ・探究学習など全国でも珍しい、本県でも初めてということをやっている。皆様の力を借りてそれを成功に導いて、「富士市立高校ってすばらしい校風だね。人づくりの学校だね。」と言われるイメージを持っていただければと思う。 ・皆さんにアイデアや意見を出していただいて、良い高校に仕立てあげていただければと思う。			

## 議事の概要

### ○学校からの報告

#### ◇中学生1日体験入学

- ・ 8月3日（水）に行わせていただいた。内容としては学校説明、学科ごとの体験授業、部活動見学や施設見学を行っている。
- ・ 中学生と保護者にアンケートをとったので、簡単に説明させていただく。
- ・ 本校について知りたいことは、生徒は「高校生の生活」、「部活動」、「授業内容」の順に多かった。本校に期待することは「新しい高校生活」、「部活動」、「授業」となっており、生徒は本校に部活動を期待しているところがある。
- ・ 保護者は、本校について知りたいことについては、生徒からは出てこなかった「進路状況」、「授業内容」、「高校の生活」となっている。本校に期待することは「新しい高校生活」、「授業」、「進路実績」になる。いずれの項目にも進路に関することが出てくる。
- ・ やはり保護者においては進路実績ということが大きな関心事である。ここは、本校ががんばっていかねばいけないところだと考えている。

#### ◇部活動の大会結果について

- ・ 陸上部の2人がインターハイに出場した。ゴルフ部が関東大会、チアリーダー部が全国大会に出場した。
- ・ 代替わりし、どの部活動も新人大会に向かっていているところである。
- ・ 陸上部の生徒が、日本ユース陸上競技選手権という全国大会で第3位に入った。
- ・ サッカー部は県のベスト16になっている。順当にいけば5日（日）に静岡学園とベスト4をかけて争うことになると思う。
- ・ 報道部は、連盟からの推薦で全国総合文化祭に出場した。
- ・ 吹奏楽部は11月1日の富士市の50周年式典で、演奏会に呼ばれている。
- ・ 美術部は、全商実務競技会で、商業デザイン第3部門で金賞を受賞した。
- ・ 全国商業高等学校英語スピーチコンテスト県大会で2年生男子が第1位になり、来年の1月の全国大会に出場する。

#### ◇夏季集中研修について

- ・ 探究だよりの裏側のトピックス4が夏季集中研修の報告になる。ここ数年、同じような内容でやっているが、先生方がやる目的をより理解したうえで取り組んでおり、年々内容が濃くなっている。
- ・ 総合探究科1年生は大使館訪問、自由が丘で大学生とフィールドワーク、マイナビによるワークショップを行った。2年生は、例年どおりハーバードの学生8名に来ていただきコミュニケーションをとりながら、楽しくワークショップをやらせていただいた。3年生は東京に行き、社会課題について実際に目で見て、ワークショップを3時間ほど行った。生徒は飽きることなく、熱く語っている姿が印象的だった。

- ・ビジネス探究科1年生は、例年どおり2泊3日で東京に行き、大企業を中心に回ってきた。2年生は地元の企業を視察に行き、その後、北京語の語学研修を行った。3年生は産業能率大学から学生と先生に来ていただき、富士市の魅力を発見するというで行った。
- ・スポーツ探究科は3学年とも例年どおり、カーリング、キャンプ、富士登山を行った。

学校からの報告について意見交換

- |          |   |
|----------|---|
| (質問・意見等) | ・探究だよりを見させていただいたが、小さいと思った。豊富な情報量なので、これが倍の大きさになってもいいのではないかと思った。また、この探究だよりを毎月いただくことはできるか。やっている内容をいろいろな形で配布することは大事だと思う。  |
| (回答)     | ・昨年度は3回出している。今年度は2回にしようと考えている。2回にした分、写真も小さくなってしまったり、文字をもっと入れたくなったりして、途中でもっと大きくしたいと思った。ただ、最初の契約があるので、来年はご意見を踏まえ紙を大きくしていきたい。  |
| (質問・意見等) | ・この探究だよりは誰を対象にしているのか。   |
| (回答)     | ・中学生を対象としている。   |
| (質問・意見等) | ・今の中学生は、いろいろな高校からたくさんのプリントをもらうので、申し訳ないが、きっと読まないと思う。例えば、最初に「市立ならできる。市立だからできる。」と書けば、それは何だろうというふうに、興味を引くようなポイントがないと読んでももらえない。<br>夏の研修は、市立高校でしかやっていないことだから、これをメインに持ってきて。たくさんやっていることは分かっているが、本当に市立高校ならではのことが前面に押し出された方が良かったと思った。 |
| (質問・意見等) | ・情報がたくさん入っているので、写真が小さくなってしまっている。中学生を第一の読者として想定するなら、ビジュアル的に惹き付ける工夫が必要だと感じる。  |
| (質問・意見等) | ・「本物に触れられる学校」とか、インパクトのある言葉が欲しい。そういう言葉を見ると、何かなと思うと思う。  |
| (質問・意見等) | ・授業を受けている写真が多いが、中学生向けであるならば、企業の方  |

<p>(質問・意見等)</p> <p>(質問・意見等)</p> <p>(回答)</p>	<p>と一緒にピースサインをしている写真や、そういう笑顔がある写真が。そういう方がより魅力を感じてもらえるのではないかと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その場合には、大きく写る生徒の了解を得ておく必要がある。そういう了解が得られれば、それも一つ。</li> <li>・内容ではなく富士山の写真。10月には、富士山に雪はない。富士山もPRのひとつになると思うので、市立高校から見た富士山というものも入れたらどうか。</li> </ul> <p>・この写真は合成したものを載せた。</p>
<p>◇平成 29 年度海外探究研修の研修地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は修学旅行ではなく、海外探究研修ということでやっている。3年間の前半の探究学習の集大成になる。</li> <li>・ヨーロッパについては移民の問題等を抱えており、いつ何が起きるか分からないという不安感や危機感を感じていた。スポーツ探究科の平成 29 年度については、ドイツ・オランダからオーストラリアに変更させていただくことになった。</li> <li>・8月にオーストラリアの下見に行かせていただいた。ゴールドコーストは非常に治安が良く、落ち着いた町だった。</li> <li>・町自体にスポーツ施設が多くあり、ドイツ・オランダ並み、もしくはそれ以上のことがやれるのではないかと考えている。</li> </ul> <p>◇市立高校の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の協議会で、改革実施計画のこれまでを振り返り、計画がこれから後期に向かっていくということで見直しをしていくという話をさせてもらった。今年1年をかけて見直しをしていくが、今回は計画に対して平成 27 年度に実施した内容を記載してある。今後、これに対して自己評価等をしながら来年度以降どのように回していくのかについては、次回の協議会での報告になると思う。</li> </ul> <p>◇平成 29 年度以降の学術顧問について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23 年 4 月に開校したときに、学術顧問を置くことが決まっており、金沢工業大学の名誉学長である石川憲一氏にお願いした。一期が3年で、二期お願いしている。</li> <li>・学術顧問は、本校の教育の内容、学校運営、大学・研究機関・産業界との連携の在り方について、専門的な見地から指導助言を受けるという目的がある。指導助言というのは管理職に対してだけでなく、生徒の講演や教員の研修も含めて多岐にわたる。石川氏は、現在は金沢に住まわれていて、非常に多忙な方なので、来年</li> </ul>	

の3月をもって退任していただくことになった。

- ・来年の4月からは、県の前教育長である安部徹氏にお願いした。安倍氏については富士市在住であり、県の重責を担ってこられ、本校の推進には必要な方だということをお願いした。

#### 学校からの報告について意見交換

(質問・意見等) ・富士市独自選抜を、県の入試とは別にやるということもなくはないと思うが、その辺りの見通しはどう考えているか。

(回答) ・市立高校は、県教育委員会の入試制度の傘下に入ってやっており、市で独自にやるということはない。

(質問・意見等) ・大学だと一般入試以外に、推薦入試やAO入試など多様な枠を設けている。そういう可能性はあるか。

(回答) ・本当はそういうものも考えていかなければいけないのかもしれないが、公立高校の入試選抜という一つの括りで行っている。

(質問・意見等) ・定員の何パーセントかを推薦入試で別にとるということも難しいということか。

(回答) ・それは、県の入試制度の傘下でやっている。本校独自で割合を決めてやっている。

(質問・意見等) ・今もやっているのか。

(回答) ・今もやっている。それは本校でいろいろなことを決めているが、大枠自体は。その自由裁量のなかで、中学の勉強ができた子であるとか、部活動で活躍した子であるとか、そういうものに割合を設けてやっている。

(質問・意見等) ・変えることがどのくらいできるものかと。

(回答) ・県の傘下のなかで、本校独自のものをやっていくことは可能である。

(質問・意見等) ・大学もそうだが、試験が変わらないと良い人材がとれないということがある。

(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠は県のままだが、通学区域の問題がある。県は一家転住以外は認めないが、本校はスポーツに力を入れたいということで、一家転住を伴わなくても県外からの入学者を認めている。そのようなところで一部特色を出している。</li> </ul>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に継続的に取り組んでおり、これまで代々木ゼミナールに委託して行ってきたなかで、代々木ゼミナールの講師がどういう指摘をされてきて、それが改善にどのように役立ったのか、改善の取組の様子をお聞きしたい。やはり受験に向けての力も高めていかなければいけないが、その重要な推進力は先生方の授業であると思う。</li> </ul>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年4月には、既に民間の教育機関を使った外部評価をしようということ、生徒の授業分析を民間が分析してくれる。</li> </ul>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も2学期の中間テストのなかで、教員評価の時間を設けたので、もうすぐその結果が来ると思う。学期末に教員評価の研修会を行っている。教科によっては、結果について話し合いがなされ、それを授業に生かしている。</li> </ul>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう評価項目があるのか。</li> </ul>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最初のガイダンスであったり、先生の話し方だったり、その授業を受けて効果を感じたかどうか、そういう項目が10くらいある。それがグラフに出てきて、総合点が出てくる。あとは、自由に記述して手紙として先生に渡すこともできるという評価になる。</li> </ul>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に生徒の授業評価というイメージである。</li> </ul>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おそらく県立高校ではやっていない。外部の教育機関が教員の授業評価をしているというのは、静岡県では本校だけではないかと思っている。</li> </ul>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職は結果を全部見るのか。</li> </ul>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職は見るできない。後から送ってくる。</li> </ul>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧のようなものか。</li> </ul>

(回答)	・はい。
(質問・意見等)	・その紙を受け取って、改善をどれだけ図るかは、結局その先生方に任されているのか。
(回答)	・教科でも話し合うということだった。
(回答)	・教科によってはかなりフィードバックして、教科で取り組んでいる。
(回答)	・何年か続けてやっているなので、前年度と比較してここが良いとかまずいとか、そういうことが個人的に分かる。代々木ゼミナールの講師を招き、どこがポイントなのかという研修を行う。
(回答)	・基本的に教科を一括りとして、代々木ゼミナールの講師が全職員を前に分析をしてくれる。
(質問・意見等)	・先生方がグループとして意見交換し、「こうしていこう。」という取組が良い。個人に任されてしまうと、どうなるか分からないところもあるので。

#### ○探究的な学習の取組について

##### ◇探究的な学習の取組について説明

- ・総合的な学習の時間のアンケート結果になる。46項目のなかで、ポイントとなるところがあると感じている。
- ・なぜだろうと思う生徒が9割を超えている。高校生だと受動的な部分があるかもしれないが、本校ではまず自分で「なんでだろう」と主体的に考えることができるのではないかと分析している。
- ・自分の考えを持つことができる、解決するときに優先順位を付けることができるといったことも8割を超えている。
- ・自分の考えに責任を持ち、自分がすべきことを決定できるということも、順当に上がってきている。
- ・まだまだかもしれないが、地域や社会から必要とされていると思うところも半分を超えている。
- ・「総合的な学習の時間は生きていく上で大切なことを学んでいると思う」では、最初は総合的な学習で何を学んでいるのか分からないということも耳にした。最近では究タイムが定着し、総合的な学習の時間が楽しいという声も聞いている。
- ・市役所プランの発展ということで資料に載せさせていただいた。昨年度は「てん

まんじゅう」を取り上げていただいた。今年度も青葉台や岩松北まちづくりセンターで、生徒が提案したことを取り上げていきたいという連絡をいただいた。

#### ◇授業者報告

- ・3年生の社会探究βという授業で、1時間は新聞探究ということで、新聞を持ってきてその記事に対して自分なりの考察・発表をしている。2学期は財政探究をやっているので、財政や社会保障に関わる記事を扱うようにしている。
- ・もう1時間は、2学期は財政探究、1学期は模擬議会を行った。実際に富士市議会議員に来ていただき、ご教授を受けた。
- ・今日見ていただいた授業の目的は、財政を題材にして社会保障費を検討しながら、広い視野で多面的・多角的に考える力を育成することである。
- ・財政探究のゴールは、グループで自分たちの社会保障を、医療をどのくらいの割合にするのか、子育てにどのくらいの割合をかけるのかということ、財務省の方と考えながら発表することが目的である。

#### 授業に関する質疑応答

(質問・意見等)

・先生方の苦勞がすごいと思った。職員の質の向上は、生徒の質の向上につながると思う。  
市立高校の校風がどうなっていくのかという話があったが、着々と校風ができていくと思う。新しく市立高校になった校風というものが、すごく期待できるものだと思う。

(質問・意見等)

・以前の市立高校と比べて少し元気がないと思った。ビジネスだとアイスブレイクをしたりする。難しいかもしれないが、そういうことがあってもいいかと思った。

(質問・意見等)

・「周りで話し合ってごらん。」と言った瞬間に、一斉に隣の子と関わりながらいろいろな疑問を出していた。高校生としては、そういうことがすごくできていることに驚きを感じた。  
言われたことに感想を持つことが一番で、疑問を持つことが次に大事である。子どもたちはすごく慣れている。疑問を持てることがすごい。目指してつくってきた方向性は全く間違っていなかったと思った。  
会話することをとても楽しそうにやっていることにとても驚いた。人間は難しい問題を考えれば考えるほど静かになっていく。じっくり考えれば考えるほど、頭のなかで整理しているので、ぼそぼそと話し始めるので、学びの姿としてはすごく理想的な姿ではないか。  
富士市の中学校はどこもグループ学習をやっているが、話し合いが一定のところから深まっていかないままグループ学習が終わってしまう



<p>(質問・意見等)</p> <p>(質問・意見等)</p> <p>(質問・意見等)</p>	<p>ことが大きな課題になっている。深い学びという方向に生徒たちをもっていく一手間というか指導を考えていくことが高等学校でも必要である。</p> <p>50分の授業は生徒には短かったようである。来年度は時間割を工夫して90分で構成しても、生徒は飽きずに耐えられると思う。90分あれば相当深まっていくと思う。</p> <p>・グループによって落差があったと思う。 アンケートの「家族と総合的な学習について話すことがある。」が意外と少なかった。社会保障については、親御さんや周りの方と話すのにいい機会だと思う。市や県の外部の方だけでなく、身近な方と話していく機会になると良い。 仕事柄、話し方が気になる。新聞探究の発表の仕方について、どういう話をされているのか。</p> <p>(回答) ・1年生からいろいろなところで発表をしているので、とりわけ指導をしたということはない。</p> <p>(質問・意見等) ・発表の仕方でもっと聞きやすくなる。せっかく内容がいいので、話し方を意識したらメリハリがついて、より良く聞こえる。質問されたときに困って、でも何か答えなければいけないという場面が、社会に出るとすごくある。そのときにどうするのかということも含めて学んでいけたらいいと思った。</p>
<p>次回日程について</p>	
<p>閉会</p>	